

令和3年度第1回富里市水道事業運営協議会 会議録

- 1 開会年月日 令和3年7月9日(金)
開会場所 富里市水道事業所 会議室
開会時間 午後1時30分
閉会時間 午後2時17分

2 委員

職名	氏名	出欠の状況
会長	内田三十四	出席
職務代理	山田照好	出席
委員	梁田富郎	出席
委員	宮本和子	出席
委員	戸村恭子	欠席
委員	森岡眞美	欠席
委員	菅谷広	出席
委員	藤崎富雄	出席

出席者6名、欠席者2名

3 事務局

富里市長 五十嵐博文
都市建設部長 相川裕史
都市建設部上下水道課
課長 川口英樹
主幹 横瀬成幸
副主幹 戸村直樹
主査 渡邊敦子

4 会議に付した議題及び結果

- (1) 令和2年度 富里市水道事業決算及び事業報告について
(全員承認) 可決

5 審議の経過

開 会

(上下水道課長)

令和3年度第1回富里市水道事業運営協議会を開会します。

本日の進行を務めます上下水道課長の川口です。

富里市水道事業運営協議会条例第6条第2項の規定により委員の過半数以上の出席がありますので、この会議は成立します。

はじめに、内田会長からご挨拶をお願いします。

会長挨拶

(会長) ～挨拶～

続いて、五十嵐市長からご挨拶をお願いします。

市長挨拶

(市長) ～挨拶～

運営協議会条例第6条第1項の規定により会議の議長は会長となりますので、内田会長をお願いします。

議 題

(1) 令和2年度 富里市水道事業決算及び事業報告について

(会長)

本日の議題は1つです。ご審議のほどをお願いします。

(事務局)

(資料「令和2年度富里市水道事業決算書」により説明)

(資料「令和2年度改良工事の概況箇所図」により説明)

(会長)

ご質問等ありますか。

(委員)

決算書6ページ、業務量の配水量及び有収率ですが、有収率が84.0%と全国平均よりも若干低く、昨年度よりも0.2ポイント下がっています。理由としては、漏水が多かったことが原因ですか。

(事務局)

ご指摘のとおり漏水が多かったことが原因と思われます。対処として、調査に力を入れ、早期発見・早期修理に心がけていましたが、令和2年度は0.2ポイント下がってしまいました。

(委員)

着々と配水管の布設替え工事を実施しているのですが、少しずつ有収率が上がってきているのではと期待していた訳ですが、漏水する部分についてお聞きします。例えば、団地への給水に使用されている小口径といったような末端の部分が多いのでしょうか。

(事務局)

ご指摘のとおり、経年数の多い団地において年間で数件ほど漏水が確認されています。

(委員)

8ページ(3)事業収入に関する事項 原水及び浄水費が、令和2年度は4億7,484万4千275円と令和元年度より6,300万円ほど増えていますが、原因を教えてください。

(事務局)

令和元年度より令和2年度にかけて、浄水量を1日当たり1,000立方メートル増やしました。八ッ場ダムが共有開始されたことに伴い、7,000立方メートルから8,000立方メートルに増やしましたので浄水費が増加しています。なお、令和3年度については1日当たり7,500m³の申込みをしています。

(委員)

今の質問に関連して、井戸水と買っている水の割合を教えてください。

(事務局)

約47%が井戸で、残りが受水です。

永久井戸と暫定井戸と合わせまして、1日当たりの6,000立方メートルです。6,000立方メートルに対し、令和3年度は7,500m³を受水しています。

(委員)

暫定井戸の受水が使用できなくなる時期はいつからですか。

(事務局)

霞ヶ浦導水が完成し共用開始となった時点で暫定井戸は廃止となります。お配りしました富里市水道事業ビジョンの中では令和6年度供用開始となっておりますが、ビジョン作成中の過程で、完成が2年間は伸びることになりましたので、現時点では令和8年度供用開始の予定です。

(委員)

5 ページ 工事について伺います。配水管更新工事に使われる耐震管について、150ミリはポリエチレン管、200ミリはダクタイル鋳鉄管になっていますが、耐震管の使い分けの基準はありますか。

(事務局)

基本的には5ページに記載のとおり実施しています。150ミリまではポリエチレン管を布設していますが、交通量の多い路線は、150ミリでもダクタイル鋳鉄管を使用しています。200ミリ以上はダクタイル鋳鉄管を使用しています。

(委員)

決算関連ではありませんが、現在の閉栓している数値を教えてください。

(事務局)

確認しますのでしばらくお待ちください。

(閉会后に回答) 約1,700件です。

(委員)

空き家の増加等で閉栓が増えているのではないかと推測されるのですが、給水量も件数も増えているので閉栓の件数も増えているのではと。

(事務局)

メーター交換を複数回行う長期的な空き家もあるわけですが、閉栓の件数はおおむね一定数であり増加はしていません。

(委員)

方策はいろいろやっているようですが、有収率が思うように上がらないというのはあちこち弱っているというように推測しますが。

(事務局)

昨年度は、公道漏水の修理を1年間で25か所実施しています。修繕費として約1,550万円をかけて行ったところですが、思うように有収率のアップには繋がっていません。また、漏水の発見に苦慮しているのが現状です。今週は、4日続けて公道漏水の修理を行うなど早期発見に努め、早期の修繕を心がけています。

(委員)

漏水調査は実施していますか。

(事務局)

年間、約50キロメートルを実施しています。

(委員)

漏水の発見件数は何件ですか。

(事務局)

本年度については、6月末から7月8日まで実施しているところですが、その期間内では4件の漏水を発見しています。

(委員)

現在の舗装は厚いため、漏水の発見を遅らせる原因になるのではないですか。

(事務局)

舗装面に水が出てくるまで時間がかかるのが原因の一つです。

(委員)

漏水箇所というのは主にどんなところですか。

(事務局)

本年度でお話ししますと、石綿管が2ヶ所と末端の40年以上経過した塩ビ管で2件の漏水を発見しました。

(委員)

それは、直管部分ですか。それともいわゆる曲り管部分ですか。

(事務局)

直管ソケット部分が一番多いです。

(委員)

現金預金は、現在は9億円あり上昇しているようですが、減少に転じることは想定されていますか。

(事務局)

現在の財務状況は、健全な運営ができています。今後については、霞ヶ浦導水が供用開始となりますと暫定井戸が廃止になり受水費が上がります。そうなりますと、現金預金は5年から6年後には3億から2億円程度に減じていくのではないかと試算しています。

(会長)

他に質問等ありますか。

(事務局)

令和2年度決算の中で特徴的なものとして、配水量について説明させていただきます。

配水量及び有収水量は令和元年度より増加しているところですが、1番増加の著しかったのは8月、2番目に多かったのは1月です。例年ですと、夏季に増加するのですが、令和2年度については、千葉県に緊急事態宣言が発出された1月に年間で2番目に多い配水量となっています。

また、口径別の使用水量についても、一般家庭用の13mm、20mmが増え、25mm以上の業務用の水量は減っていますことから、一般家庭において在宅の時間が増えたことが、年間を通して配水量が増える結果となったことが伺えます。

有収量が増えれば給水収益が上がって水道事業経営にとっては有難いことですが、今後どのように推移していくかわかりませんが、今現在においても増加傾向で推移している状況です。

(会長)

良いのか悪いのか悩ましい結果ではありますが、会社関係は減っている訳ですね。

(事務局)

令和元年度よりは若干ですが、減少しています。

(会長)

家庭での自粛生活で水を使ってくれた訳ですね。

他に質問等がありますか。(なしとの声あり)

それでは、議題(1)「令和2年度 富里市水道事業決算及び事業報告について」の採決を行います。

本議題について承認される方は挙手願います。

挙手全員です。よって本議題は、承認されました。

議題は以上で終了しましたので、事務局へ会議の進行をお返しします。

その他

(事務局)

次第の4 その他ですが、事務局より連絡事項があります。

次回の運営協議会の開催は令和3年11月頃を予定しています。

議題は令和3年度富里市水道事業会計上期業務報告についてを予定していますのでよろしくお願ひします。

また、本年の10月31日で現委員の皆様様の任期が満了します。引き続きのご意向を後日、個別に確認させていただきますのでよろしくお願ひします。

(事務局)

皆様から何かご質問はありますか。(なしとの声あり)

以上で令和3年度第1回富里市水道事業運営協議会を閉会します。